

一人社長の呑み会ネタ 03 ゴミ箱にゴミを捨てたら怒られた話…

呑み会ネタをシリーズ、

第三弾は、「文化が違うね」という実際の話です。

■ 海外では当てはまらいという話を 2 つ

日本の「おもてなし」「気配り気遣い」的な習慣が海外では当てはまらない、逆に迷惑になってしまうという話を二つほどお話しします。

二つとも実際にあった話なのですが、

一つ目は私が父から聞いた「ゴミ箱にゴミを捨てたら怒られた」話、

二つ目は私が「荷物を拾ってあげようとしたら怒鳴られた」話です。

■ 「ゴミ箱にゴミを捨てたら怒られた」

もう 20 年以上も前の話ですが、亡くなった父がアメリカの飲食チェーンの社長をしていました。

（社長だったというのを自慢したいのでなくて、この話のオチになるのでさりと流していただけますか）

本社オフィス内を歩いているときに、ペンだったか紙屑だったのかはよく覚えていないのですが、とにかく通路にゴミが落ちていたんだそうです。

日本人なら普通にゴミをゴミ箱に入れますよね？

父もそうしようとしたみたいです。

そのとき、あるスタッフに怒られたそうです。

そのスタッフは、清掃のスタッフだったそうです。

何を怒られたと思いますか？

「それは私の仕事。」

「それをあなたがやってしまったら私の仕事が無くなってしまう。」

「だから、あなたはゴミを拾ってゴミ箱に入れないで。」

これを社長に直接言ってしまうんですね。

日本ならおそらく「まずは直接上司に相談」だと思います…

■ 親切で拾ってあげようとしたら怒鳴られた話

アメリカの国内線で移動した時の話です。
空港で荷物検査があるのは皆さん知っていると思います。
トレーに荷物を載せてX線を通過させる例の検査です。

当然私も検査を受けるために列のひとり前にご婦人が並んでいました。
そのご婦人が荷物をトレーに載せて私も載せてレーンに流す。
人の金属探知機ゲートを通してトレーが出てくるのを待ちます。

すると、載せ方が悪かったのかご婦人の荷物がトレーから落ちて、
荷物がいくつも床にばら撒かれてしまいました。

日本人ならこのときに拾ってあげる人が多いと思います。
はい、私もそうしました。
床に落ちているものを拾いながら、恥ずかしながらこんなことを考えてました…
「ちょっとだけ良いことしたな」「お礼の英語に笑顔で応えよう…」

が・・・聞こえてきたのは怒鳴り声でした。
お礼を言われると思っていたのに怒鳴られたので、それはビックリです。

まくし立てられたのでよく分からなかったのですが、こんなことを言っていたそうです。
「彼が（私のこと）床に落ちた私の荷物を拾って盗んだ」

こういったときには、何もしてあげないことの方が良いことのようにです。

この話はアメリカでの話ですが、コロナ禍では日本でも同じようなことが起きています。
倒れている人を起こしてあげようとしたら、「触らないで」と言われたり。

日本の「おもてなし」や「気配り気遣い」が迷惑になってきているのかも…というお話しでした。

【作成者】
株式会社 e-Day
BIZIN & BIZIN+
mail : info@bizin.jp